

大切な作物を害虫から守ります。

カルホス[®] 乳剤

ロングセラーには理由がある!

1. 接触毒と食毒の両作用により、幅広い害虫に有効です。
2. 作物への吸収移行がないので、残留・残臭が少ない殺虫剤です。
3. 悪臭や刺激性が少なく、使いやすい。



カルホス[®] 乳剤

■有効成分：
イソキサチオン…50.0%
■人畜毒性：医薬用外劇物

■適用病害虫名及び使用方法

(平成25年12月現在の登録内容)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
とうもろこし	アワノメイガ	1000	100~300ℓ /10a		2回以内		2回以内 (種子粉衣は1回以内)
みかん	ゴマダラカミキリ成虫	1500	200~700ℓ /10a	収穫30日前まで	4回以内	散布	4回以内
	ミカンハモグリガ	1000~1500					
	コカクモンハマキ						
	クワゴマダラヒトリ若齢幼虫						
ミカンサビダニ	1000						
	コナカイガラムシ類	1000					
	ミノムシ	1000					
	ケシキスイ類	5000					
	カナタタキ	5000					
いちご(仮植床)	コガネムシ類幼虫	1000~1500	3ℓ/m ²	植付後		灌注	
キャベツ	アオムシ	1500~2000	100~300ℓ /10a	収穫21日前まで	1回	散布	1回
	コナガ					土壌灌注	
たまねぎ	タマネギバエ	500~1000	育苗箱(約30×60×2.5cm、使用土壌約2ℓ)1箱当り500mℓ	定植前	1回	土壌灌注	1回
さとうきび	アオドウガネ幼虫	1000	1.8ℓ/m ²	夏季生育期まで	3回以内		5回以内 (種苗浸漬は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)
	ハリガネムシ類					12時間種苗浸漬	
茶	コカクモンハマキ	1500	200~400ℓ /10a	摘菜21日前まで	1回		1回
	チャノホンガ						
	ヨモギエダシャク						
	チャノホコリダニ						
	クワシロカイガラムシ		1000ℓ/10a				
たばこ	ジャガイモガ	1000	100~180ℓ /10a	植付前	2回以内	散布	2回以内
	タバコガ	1000~1500					
	ヤサイゾウムシ	1500~2000					
樹木類 (まさき、もっこく、すぎを除く)	カイガラムシ類	1000	200~700ℓ /10a	-	6回以内	散布	6回以内
	ケムシ類						
まさき	カイガラムシ類	1000	200~700ℓ /10a	-	6回以内	散布	6回以内
	ケムシ類						
	ユウマダラエダシャク						
もっこく	カイガラムシ類	1000	200~700ℓ /10a	-	6回以内	散布	6回以内
	ケムシ類						
	モッコクハマキ						
すぎ	カイガラムシ類	50~100	樹皮表面積1m ² 当り600mℓ	成虫発生初期	-	樹幹散布	-
	ケムシ類						
	スギザイノタマバエ						
花き類・観葉植物 (きく、ガーベラ、シクラメン及びアジアンタムを除く)	オンシツコナジラミ若齢幼虫	1000	100~300ℓ /10a	-	4回以内	散布	4回以内
きく	マメハモグリバエ	1000	-	-	-	散布	-
ガーベラ	オンシツコナジラミ若齢幼虫						
芝	スジキリヨトウ	1000	1~2ℓ/m ²	発生初期	6回以内	散布	6回以内
	シバツトガ						
	シバオサゾウムシ						
	ケラ						
	コガネムシ類						
	タマナヤガ幼虫						

■効果・薬害等の注意

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- 芝に使用する場合は、土壌面まで濡れるように十分な液量を散布してください。
- オンシツコナジラミに対しては若令幼虫には有効であるが、卵、蛹には効果が低いため、若令幼虫の多い時期をねらって約1週間間隔でくり返し散布してください。
- いちごのコガネムシ類幼虫に対しては仮植床に植付けた後床面全面にジョコ等によって所定量を均一に灌注してください。
- とうもろこしのアワノメイガに対する散布適期は雄穂の出穂期であり、雄穂の出穂前後の2回散布が効果的です。
- さとうきびのハリガネムシ類に使用する場合は、成虫の発生初期に地上3mの高さの樹幹部に樹皮表面積1m²当り600mℓを標準として散布してください。
- たまねぎ(育苗箱)に使用する場合は、軟弱苗などには薬害を生じるおそれがあるので留意してください。
- さとうきびのハリガネムシ類防除に種苗浸漬処理で使用する場合は、所定時間浸漬後風乾してから植え付けてください。
- さとうきびのアオドウガネ幼虫に使用する場合は、なるべく若令幼虫の多い時期に合わせてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ③養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。
- シクラメン、アジアンタムには薬害を生ずるので、かからないように注意して散布してください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

■安全使用上の注意

- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。
 - 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の処置を受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の処置を受けてください。
 - 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。
 - 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすようにしてください。
 - 薬液調製時及び使用の際は保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗顔してください。
 - 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
 - ハウスで使用する場合は、換気に十分注意し、薬液がハウス内にこもらないようにしてください。使用後は十分に換気し、入室してください。
- 治療法：硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。
- 水産動物への影響：水産動物(魚類・甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は、水産動物に影響を与えないよう処理してください。
- 保管：密栓し、火気を避け、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

包装：100mℓ×60本、500mℓ×20本

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

製造



保土谷UPL株式会社

東京都中央区八重洲二丁目4番1号
http://www.hodogaya-upl.com

販売



日本曹達株式会社

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
TEL(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084
ホームページアドレス http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/
大阪支店 ☎(06)6229-7343 東京営業所 ☎(03)3279-6961
札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003
仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336
信越営業所 ☎(0255)81-2323 松山営業所 ☎(089)931-7315

NO.274-1401Z